

きんや先生の ガーデニング教室 inねぎぼうず



グリーンデザイナーの多田 欣也(ただ きんや)先生の寄植えガーデニング教室 第一回が開催されました。群馬県下仁田町の旧西牧小学校校舎二階、春の陽が窓からこぼれるような教室の一室は花の匂いでいっぱいです。

参加者は10人、長野県から参加された方もいます。

○土の見分け方

○水のやり方

○花の寄せ方

などの講義、この間脱線してここだけの話!? 著名人の方のお話なども、ガーデニングのきみまろかしらと思われれるような話に抱腹絶倒、和気あいあいの後は立派な実技。

各人の前に置かれた鉢を前に様々な花をえらび、私流のアレンジで植えていきます。

花寄せは実は簡単なようで難しい。「皆さんさまざまな体験や独学で学ばれた方もおいででしょうが、僕は初心者には、何より優しく丁寧におおしえしますよ」ときんや先生のプレッシャーの前に緊張。それでもちゃんとガーデニングができました。個性が様々でたのしい。トークンからきんやワールド全開の授業でした。後程きんや先生は、初日だったせいかな全開ではなかったとおっしゃっていました。結果は目の前に広がる美しい花の世界と合って、ちょっととりこになっていきそう。きんや先生はそれすらも分かっているのか、私たちには次に必要な事はその時が来てわかりますと。どういこうとかしら!?



それは参加してから分かることという事でしょうか。今回の花寄せはどんなお花たちが来るのでしょうか。花だけでなく、花寄せガーデニングの仲間に会えるのも楽しみです。皆さまお誘い合わせの上ご参加ください。きんや先生曰く美しいものには美しい人が似合う・・・ホントかしら。



【日程】 毎月第二、第四日曜日
午後一時
【場所】 下仁田旧西牧小学校跡地
ねぎぼうず 二階教室
【会費】 2,000円
※できたものはお持ち帰りしていただけます。



ねぎぼうず



新聞

vol. 05
2023 Spring



私が子ども達に託す夢

下仁田に女性村を創ると西館理事長から伺い、また実際に下仁田を訪問しました。本当に何も無いところというイメージで、ここが便利で観光地に発展するなどまずないだろうと正直思いました。でも、なぜか心は和みました。私達の生活は便利で豊かになってきたことは事実ですが、豊かになってきた分、精神的には逆に貧弱になってきたのではないのでしょうか。

なんか、ギスギスしてきたし、若い人なんかスマホ片手に歩いているし、電車などでもみんなスマホで、窓の景色など見ている人はいません。おおよそ、日常の人との会話や自然に触れあうなどという時間は失っていくばかりなのではないか、と思いました。このままでいいのか、私たち大人はいいとして、これから長いこと生きなくてはならない子ども達のことを考えたとき、心豊かな大人に育つには人との接点や自然との触れ合いはどんなに大切か、真剣に考えさせられました。

「下仁田で森を探していただけますか」と理事長さんをお願いしました。子供たちが自由に伸び伸びと遊び、自然と親しみ、木を植えたり、畑をしたり、月や星を見ながらのキャンプをしたりできる森を...それは私たち大人の子どもの夢のお手伝いになると、そんな気持ちでした。

「いいわね、剣持さん、私は美智子皇太后さまがらばい協会にお心を寄せていただいでくださったことが今でも忘れられないの、是非、ねむの木を植えたいわ」と西館さん。そんなことで、子ども達の夢が広がるような場が下仁田にできることを期待しています。



【らばい協会理事 剣持英子】

下仁田ねぎぼうずの春

下仁田に春が来ました。

3月2日、昨日までの空っ風が嘘のように早春の香りがする山間の町に車を走らせました。冬の間、地場産業の「葱」の出荷で、にぎわっていた町がやっと落ち着いて静かな感じの中、ほっと一息ついたようです。

梅が色づき、木々の芽が出そろい、緑の色をまとうのを待っているようにみえます。

今日は旧西牧小学校跡地のねぎぼうず館の様子を見に行きました。

留守の間に来た「相談室・医療、母子支援、虐待などもろの相談事」の部屋、フジコ・ヘミングさんの部屋、多田欣也さんの部屋など活動に向けて掃除しなくては、と思いましたが、何とすべては巴大工さんの手によってピカピカに輝いていました。



満開の紅白の梅と春を待つ福寿草の里。初めて下仁田を訪れた岩手愛児会会長藤澤昇氏(当協会理事)と西館理事長



〜こもりうたの謎〜

群馬はなぜ「ぼうや」ではなく「嬢や」なの？

ねんねんよ かんかんよ
ねんねんよ かんかんよ
嬢やはいこだ ねんねしな
ねんねして起きたら おちちやろ
おちちのおでば(もち)が
いやならば
お米のごはんにととせえて
さらさら食べたたら うまいだら

男の子をうんだら とりあげよ
とりあげばあさん 名はなんと
八幡小太郎と 名をつけよう
八幡小太郎の うまやには
馬をいくつ つないだら

群馬の女性上位の風土が色濃く出て
いる子守唄。男なら八幡太郎(源義家)
より強い武将になるよう子どものうち
から育てます。義家にあやかっけて小太郎
と育てよう、とあくまでも女の子に「嬢
や」と歌われます。

フジコ・ヘミングさんの部屋

フジコ・ヘミングさんのピアノに
会いに来て 見に来て
そして弾いてみて下さい

下仁田の旧西牧小学校の教室にフジコ・
ヘミングさんのピアノが届いたのは昨年の
夏のことでした。

その後ピアノの調律を終え、フジコさん
の部屋としてやっと公開までにこぎつけ
ました。

明るい部屋はフジコさんのイメージの
ままにリメイクされ、彼女の描いた絵画
も展示されました。

フジコさんはこのピアノの贈呈にあた
り、子ども達や女性達へのメッセージとし
て、是非子ども達や女性達にピアノに触れ
優しい人に育ってほしいという願いが添え
られました。

下仁田の緑の中、そよ吹く風の中で、皆
さんにピアノに触れてもらう機会を、味
わって頂きたいとご案内申
し上げます。

私達は飾りとしておかれ



開放的な相談室。お気軽にお出かけください。



フジコ・ヘミングさんの
ピアノに会いに来て

guidance 活動案内

相談室

一階に設立された「相談室」では地元
の方たちやお母さん達の健康や家族・子
育での問題・子ども達の相談などをメー
ルや直接の訪問で受けられるよう開設
します。できれば子ども達の駆け込み
相談や、数日の滞在での支援も始めるつ
もりです。専門の相談員、ボランティア
相談員の募集も始めました。

タイム・ホフマンさんの民族音楽

下仁田吉崎にお住いのホフマンさんは
民族音学者、武蔵野音楽大学教授でい
らっしゃいます。その先生が教室を使っ
て、様々な活動をなさることをねぎぼうず
プロジェクトはお手伝いしたいと思います。
何とあのビルマの竖琴の実物がすでに
旧西牧小学校に届いています。



現物のビルマの竖琴



ホフマンさんと奥様の佐紀子さん

自炊塾

食への思いを試行錯誤の末、敢えて自
炊塾という名前を付けてつなげていくこ
とにしました。
みんなが「おいしいね」と言って食べる
しあわせ、それを創る喜び
①自分の生き方に向き合う「食」
食に関する主治医は自分自身という自覚を

- ②先人の知恵を受け継ぎ、命をつなげていく「食」
親から子へ、子から孫へと伝わる家庭の味を
分の中にある
③「医・食・農」をつなげたい、未病、食医、ビレッジといったことも自
分の中にある

病気の大きな原因の一つに食があり
ます。

今の食事は命をいただくというよりは
食べればよいという餌状態です。食べてい
るものが良くなるとは健康になれません。
病気治しの食などはもっと難しいです。

そう思うようになって未病という病気に
ならないような食べ方やその人にとっ
て良い食べ方を伝えられる食医になりた
いと思いました。そのため陰陽の考え方
や望診法の勉強もしました。本来み
んな自分自身が自分の食医なのです。た
だそれに気づいていないだけ。体の声を
聴けばちゃんと信号は出してくれている
のです。

そして、最終的にたどり着いたのが、1
歳(胎児)から2歳までの乳幼児とそのお
母さんのたちの食の場づくりでした。独
身時代いい加減な食事をしていたお母さ
んたちも真剣に我が子のために何を食べ
させていったら良いか考えたと思います。

私たちは、宇宙のすべてのエネルギーを
「食」を通してもらい、いのちをつなぎ
続けてきました。

細かいノウハウではなく、一緒に作って
実際に食べてもらって感じてもらう。食
べている子どもたちの様子を見ておしいと

column

下仁田発 癒しのオルゴール
「GARYU 雅流」

懐かしいオルゴールの調べには心を癒し、
孤独の中にも暖かな豊かさを感じる響き
があります。

下仁田町在住の山田幸男さんはその
オルゴールの音色に魅せられ、更に自分で
よりダイナミックなオルゴールの制作に
挑戦しています。

人生の挫折、海外旅行、人との出会い、
その中で山田さんは故郷下仁田の自然の
中に響かせる音楽を流したいと思ったの
かもしれません。

懐かしさと強さを音色で表現し、曲が
静かさからダイナミックに、さらに特製の
譜面を通して沢山楽しめるオルゴール。
手回しで曲変え可能な、音量の高低可能
な、つまり自身の演奏を楽しめる逸品を
創りだしました。

ねぎぼうず事務局をお訪ねくださった
山田さんの肩に掛けられたギターに近い
オルゴール、右手の手回しは自由に速度が



るピアノでは
なく、ピアノに
触れた事のな
い人たちにも、
身近にピアノ
を感じ音を楽し
んでいただ
きたいと思っ
ています。
皆さまお誘いあわせの上、どうぞ、ピア
ノに会いに来てくださいます。
きっと、心豊かな時間に巡り合うこと
が出来ると思います。
開放日は只今調整中。

event

春の夕べのコンサート
浮かれ心に春を感じて

春の夕方に子守唄はよく似合います
春の夕方は静かな時間が似合います
春の夕方はどこにでも音楽が聞こえます
春の夕方は癒しの神様の時間です

ギター演奏 藤井秀亮
お話 近藤奈保
雅流 オルゴール奏者 山田幸男
日時 2023年5月28日(日)
午後3時 開演
会場 下仁田旧西牧小学校
フジコ・ヘミングの部屋
日本らばい協会
03-6458-0283
費用 2,000円

つも「食」があって欲しいです。
大人たちが子どもの幸せを願い、食と
かわり、大人たちも子ども達も「おい
しいね」と言いながら、料理を作って食べ
る。その空気感がきつとだれにも幸福感
を感じさせてくれると信じます。
人間本来のしあわせの原点は食にある
と私は思います。

自己流にアレンジされ、左手では音量が
自由に調整できます。従来のオルゴール
を子どもとすれば、この素朴な楽器は大
人の風格を思わせます。

同じ曲を繰り返す静かさは又よしと
して、このオルゴールは手製の音符紙によっ
てさまざまな音楽を聴かせてくれます。

福寿草の里の一隅にある木のハウス、夜
は満天の星が輝く部屋で、人生の航路の
先にそと寄港した山田さんの書齋では
きつとこのオルゴールが、心を慰めている
に違いありません。

左より、お仲間の松本さん、天野さん、山田さん

